



# あしや動物愛護だより

2006年  
平成18年  
冬の号

芦屋動物愛護協会 Ashiya Society for the Prevention of Cruelty to Animals

事務局 芦屋市役所経済課内 (電話0797-38-2033)

http://www.kcc.zaq.ne.jp/aspca/ ashiya\_animal@hotmail.com

## ご挨拶

芦屋動物愛護協会

会長 都筑 省二

会員の皆様、お元気で過ごして下さいます。日頃は、芦屋動物愛護協会の活動にご協力を頂き、ありがとうございます。

当協会は、動物愛護活動を通して、芦屋のまちづくりに少しでもお役に立ちたいと考えているボランティア団体で、一九五三年(昭和二十八年)の発足から、やがて五十四年目になります。時の経過とともに活動の内容も大きく変わってきています。

市内で数多くのペットが飼われている現在(犬は約三八〇〇頭)正しく飼養することが、ますます大切になっていきます。そのために、協会では、「犬のしつけ方教室」を行っており、また、保護された犬や猫の里親探しや野良猫に対する不妊手術サポートなどにも取り組み、広報活動にも力を入れています。

そんな動物愛護活動には、時間もお金もかかります。活動に賛同頂けるようでしたら、ご支援下さいますようお願い致します。動物愛護に関心のある方ならいつでもどなたも入会できますので、是非ご参加下さい。

当協会の石橋梅子副会長が、この十月に帰らぬ人となりました。創立以来の会員として幹事長として、長い間協会の運営にご尽力を頂きました。

石橋さんは、生前よりアイバンクへの登録をしておられたようですが、それだけでなく、医学の発展のためにとご遺体の献体もされたと聞き、亡くなられた後までも社会のために尽くされるその生き方に深い感銘を覚えています。

深い感謝とともに、心から哀悼の意を捧げます。



## ～野良猫と平和に共生出来る社会をめざして～

### 野良猫基金による活動報告「野良猫から地域猫へ」



芦屋動物愛護協会では、平成16年4月より、市民の皆さんからの依頼があった場合に、野良猫・地域猫に対して不妊・去勢手術を施すための捕獲をお手伝いしています。また、頭数が多い場合などの個人的負担を少しでも軽減出来るように、手術費を助成するための『野良猫基金』を立ち上げました。これは皆様からの寄付金と提供品をバザーで販売した売上金のみが資金源の小さな基金ですが、皆様のご協力と担当者の努力で、この2年半の間に126匹に及ぶ野良猫の捕獲と不妊手術のための病院搬送を行い、そのうち47匹の猫に対し、手術費用の一部(5千円/1匹)を助成することが出来ました。

現在、市内に生息する野良猫の数は非常に多く、まだまだハッキリと目に見える成果を挙げるまでには至っていないのが現状です。本来、年に2回の発情期であるはずの猫が地球温暖化の影響か、最近では季節を問わず発情していることも多く、空き地や民家の庭先などで出産した等の苦情の通報が増えています。また、これに関連し、公園や路上への捨て猫(これは立派な犯罪行為です)も、毎年幾度となく起こっています。小さな命の尊さを、今一度考えて頂きたく思います。

不妊・去勢手術を行うのは、人間の驕った身勝手な行為であり、動物の自然なままの本能に反することだと批判的な方もおられますが、猫は野生動物ではありません。人と猫の両方が共にお互いと暮らす道を選択し、野生の猫がイエネコとなった時から、その命と生活については、人が責任を持たねばならない生き物になったのです。飼主や世話をする人のいないイエネコがその生を全うするのはとても困難なことです。

家庭で飼われている猫の寿命は、昨今では20歳を越すこともさほど珍しくはありません。しかし野良猫の寿命はほんの数年です。生れ落ちた仔猫の半数は、病気、怪我、事故などで、成猫になるまで生きてはられないのが現状です。

イエネコには、出来ればイエネコとして幸せな生涯を送らせてやりたい。でも、飼猫として家の中で飼うことが出来ない場合には、せめてその地域の住民に存在を認められ見守られている地域猫として苦痛の無い生涯を送らせてやりたいと願います。

猫好きの人達がいる反面、猫嫌いの方、猫による糞尿等の被害を被り、日々迷惑に思いながら生活している方が数多くおられることも、承知しております。そもそも野良猫というのは、無責任な人間に飼われていて捨てられた結果、仕方なく野良生活を送らざるを得なくなった悲しい過去を持つ不幸な猫達です。

市民の皆様には、共に不幸な猫をなくすための協力体制をとって頂けたらと願っています。そして、私達は人と人、人と全ての生き物達が平和に共生できる社会とルール作りを目指して、今後も活動を続けて行きたいと思っています。